

直接制御方式

CC-5011B

リモートコントロールユニット

目次

安全上のご注意	1	接続のしかた	7
概要	4	ラックに取付けるとき	11
使用上のご注意	4	アフターサービスについて	11
各部の名称とはたらき (フロントパネル)	5	仕様	12
各部の名称とはたらき (リアパネル)	6		

このたびは、TOA直接制御方式リモートコントロールユニット CC-5011Bをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をお読みにになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

安全上のご注意

- ご使用の前に、この欄を必ずお読みにになり正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みにになったあとは、いつでも見られる所に必ず保存してください。

表示について

ここでは、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

誤った取り扱いをしたとき、人が死亡または重傷に結びつく可能性のあるもの。



注意

誤った取り扱いをしたとき、人が傷害または物的損害に結びつく可能性のあるもの。

図記号について

- 注意を促す記号



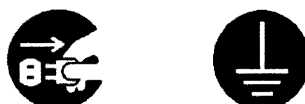
注意

- 行為を禁止する記号



禁止 分解禁止 接触禁止

- 行為を強制する記号



電源プラグを抜く アース線を接続せよ

万一、異常が起きたら



警告

次の異常が起きたら、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 煙が出ている、変なにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ったとき
- 落としたり、ケースを破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（芯線の露出、断線など）
- 画面が映らないとき



警告

設置・据付をするとき

水にぬらさない

本機に水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようにご注意ください。
火災・感電の原因となります。



禁止

指定外の電源電圧で使

表示された電源電圧以外の電圧で使しないでください。
火災・感電の原因となります。



禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたりしないでください。また、コードの上に重いものをのせないでください。
火災・感電の原因となります。



禁止

安全アースを接続

安全アース端子は必ず接地してください。
接地しないで使用すると、感電の原因となります。
ただし、ガス管は危険ですから、絶対に接続しないでください。



アース線を
接続せよ

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



禁止

警告

使用するとき

内部を開けない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、ケースを開けたり、改造したりすると、火災・感電の原因となります。

内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



分解禁止

液体の入った容器や小さな金属物を上に置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



禁止

内部に異物を入れない

本機の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落し込んだりしないでください。

火災・感電の原因となります。



禁止

雷が鳴ったらさわらない

雷が鳴り出したら、電源プラグにはさわらないでください。

感電の原因となります。



接触禁止

注意

設置・据付をするとき

設置場所に注意

湿気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所や熱器具の近く、油煙や湯気のあたるような場所に置かないでください。

火災・感電の原因となることがあります。



禁止

工事は販売店に相談を

工事は、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

火災・感電・けが・器物損壊の原因となることがあります。



注意

⚠ 注意

使用するとき

上に重いものを置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



禁止

製品の上に乗らない

本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。
倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

ACアダプタ<電源装置>は専用品を

専用品以外のものを使用すると、火災の原因となることがあります。



注意

定期的に内部の掃除を

内部の掃除については、販売店にご相談ください。
内部にほこりがたまったら長い間掃除をしないと、火災の原因となることがあります。



注意

お手入れの際、長期間使用しない場合の注意

お手入れのときや長期間本機をご使用にならないときは、安全のため電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電・火災の原因となることがあります。



電源プラグを抜け

概要

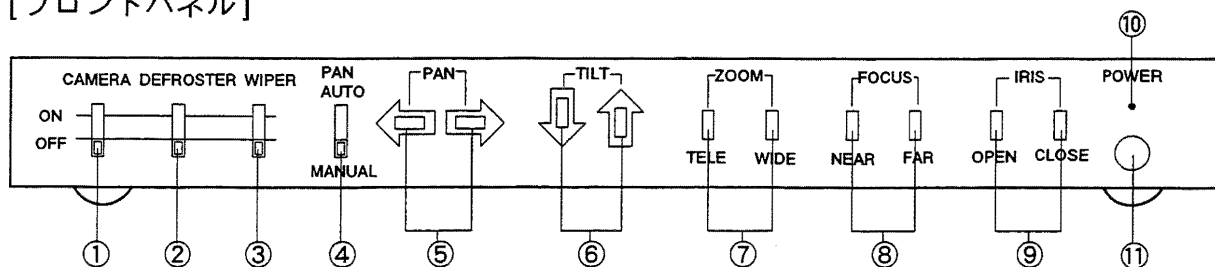
監視用ビデオカメラを離れた場所から操作するためのユニット(近距離用・直接制御方式)です。24Vアダプタ CC-5941B と合わせて使用し、各カメラに1台ずつ必要です。

使用上のご注意

- 直射日光のあたる場所や暖房器具の近くなどで使用しないでください。ケースや部品に悪い影響を与えます。
- 湿気やほこりの多い場所で使用したり、放置したりしないでください。万一、内部に水が入ると感電事故や故障の原因になります。
- ケースを開けて内部に触れたり、金属類などを入れると感電事故や故障の原因になりますので絶対にしないでください。
- パネルやケースの清掃はやわらかい布でふいてください。ベンジン、シンナー、化学ぞうきんなどは絶対に使用しないでください。変形、変色することがあります。

各部の名称とはたらき

[フロントパネル]



① カメラ電源スイッチ (CAMERA ON/OFF)

“ON” でカメラに電源等を供給することができます。

* “OFF” にすると旋回台等の制御はできません。

② デフロスタスイッチ (DEFROSTER ON/OFF)

デフロスタ付きのカメラハウジングが設置されているとき、“ON” でカメラハウジングの窓のくもりを取除くことができます。

* くもりが取れたら、“OFF” にしてください。

③ ワイパースイッチ (WIPER ON/OFF)

ワイパー付きのカメラハウジングが設置されているとき“ON” でカメラハウジングの窓の水滴を取除くことができます。

* 水滴が付かなくなったら、必ず“OFF” にしてください。ONのままにしておくと窓に傷をつけることがあります。

④ オートパンスイッチ (PAN AUTO/MANUAL)

水平方向に連続して反転旋回させることのできる電動旋回台が設置されているとき、“AUTO” でカメラを自動的に連続して反転旋回（水平方向）させることができます。

“MANUAL” で、⑤パン操作ボタンによりカメラを水平方向に旋回させることができます。

⑤ パン操作ボタン (PAN LEFT/RIGHT)

電動旋回台が設置されているとき、“LEFT” でカメラを左に旋回させることができます。“RIGHT” でカメラを右に旋回させることができます。

* オートパンスイッチ④が“AUTO”になっているときは動作しません。“MANUAL” にしてご使用ください。

⑥ チルト操作ボタン (TILT DOWN/UP)

垂直方向に旋回させることのできる電動旋回台が設置されているとき、“DOWN” でカメラを下に向けることができます。“UP” でカメラを上に向けることができます。

⑦ ズーム操作ボタン (ZOOM TELE/WIDE)

電動ズームレンズがカメラに取付けられているとき、

“TELE”（望遠）で遠くのを大きく映すことができます。

“WIDE”（広角）で広い範囲を映すことができます。

* ズーム操作する前に焦点を合わせてください。

1. ズーム操作ボタン⑦の“TELE”で、最望遠にします。

2. 焦点調整ボタン⑧で焦点を合わせます。

3. ズーム操作ボタン⑦の“WIDE”で最広角にします。

4. カメラのバックフォーカス調整リングを回して、焦点を合わせます。

5. 1～4を2～3回繰り返し、ズーム途中でも焦点が合うように調整してください。

⑧ 焦点調整ボタン (FOCUS NEAR/FAR)

電動ズームレンズがカメラに取付けられているとき、

“NEAR” で近くの物に焦点を合わせることができます。

“FAR” で遠くの物に焦点を合わせることができます。

⑨ 絞り調整ボタン (IRIS OPEN/CLOSE)

電動ズームレンズ（自動絞りを除く）がカメラに取付けられているとき、“OPEN” で画面を明るくします。

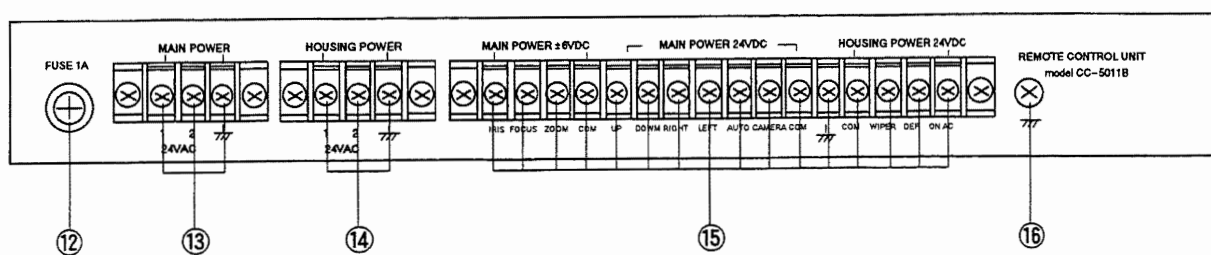
“CLOSE” で画面を暗くできます。

⑩ 電源ランプ (POWER)

電源スイッチ⑪を“ON”にすると点灯します。ただし、24Vアダプタ CC-5941Bの電源スイッチが“ON”になっていなければ点灯しません。CC-5941Bの電源スイッチを“ON”にしてください。

⑪ 電源スイッチ

[リアパネル]



⑫ ヒューズホルダ (1A)

指定どおりのヒューズをご使用ください。

⑬ 主電源入力端子

* 24 V アダプタ CC-5941B と接続します。

⑭ ハウジング用電源入力端子

* 24 V アダプタ CC-5941B と接続します。

⑮ 制御出力端子

電動ズームレンズ、カメラ、電動旋回台、ハウジングを接続します。

* “ON - AC” はファン・ヒータ用の端子で、常時 AC24 V が出力されています。

接続のしかた

● 接続ケーブル芯数と延長可能距離 (m)

	ユニット組合わせ			ケーブル芯数 [本]			線径と延長可能距離 [m]		
	電動旋回台	ハウジング	電動ズームレンズ	カメラ用	電動旋回台 ハウジング用	電動ズームレンズ用	φ 0.9 (29.2 Ω/km)	φ 1.2 (16.5 Ω/km)	φ 1.6 (9.6 Ω/km)
屋 内	—	—	○	3	—	3	300	600	1000
	CC-5521/CC-5525	—	—	9	—	—	40/150	70/250	120/450
	CC-5521/CC-5525	—	○	9	—	3			
屋 外	CC-5531	—	—	9	—	—	40	70	120
	CC-5531	—	○	9	—	3			
	—	CC-6510FH	—	5	—	—	50	100	150
	—	CC-6510FH	○	5	—	3			
	—	CC-6410FH	—	7	—	—	30	55	100
	—	CC-6410FH	○	7	—	3			
	CC-5531	CC-6410FH	—	12	—	—	20	35	60
	CC-5531	CC-6410FH	○	12	—	3			

* 延長可能距離は 20℃ の値ですので、表の数値に近い距離ではより太い線をご使用ください。また、共通線 (COM) を 2 本にすると約 1.5 倍に延長できます。

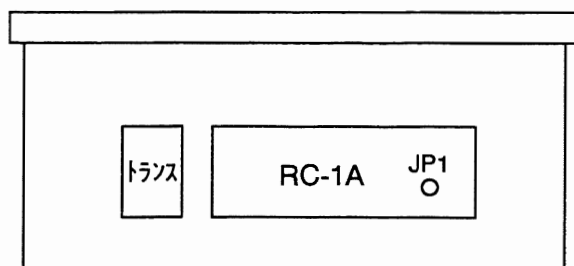
* オートアイリスタイプ以外のズームレンズを使用する場合、ズームレンズ用の芯数は 4 芯必要です。

● 旋回台 CC-5525 との接続について

旋回台 CC-5525 でオートパン使用時は下図のように本機の調整が必要です。

(調整方法)

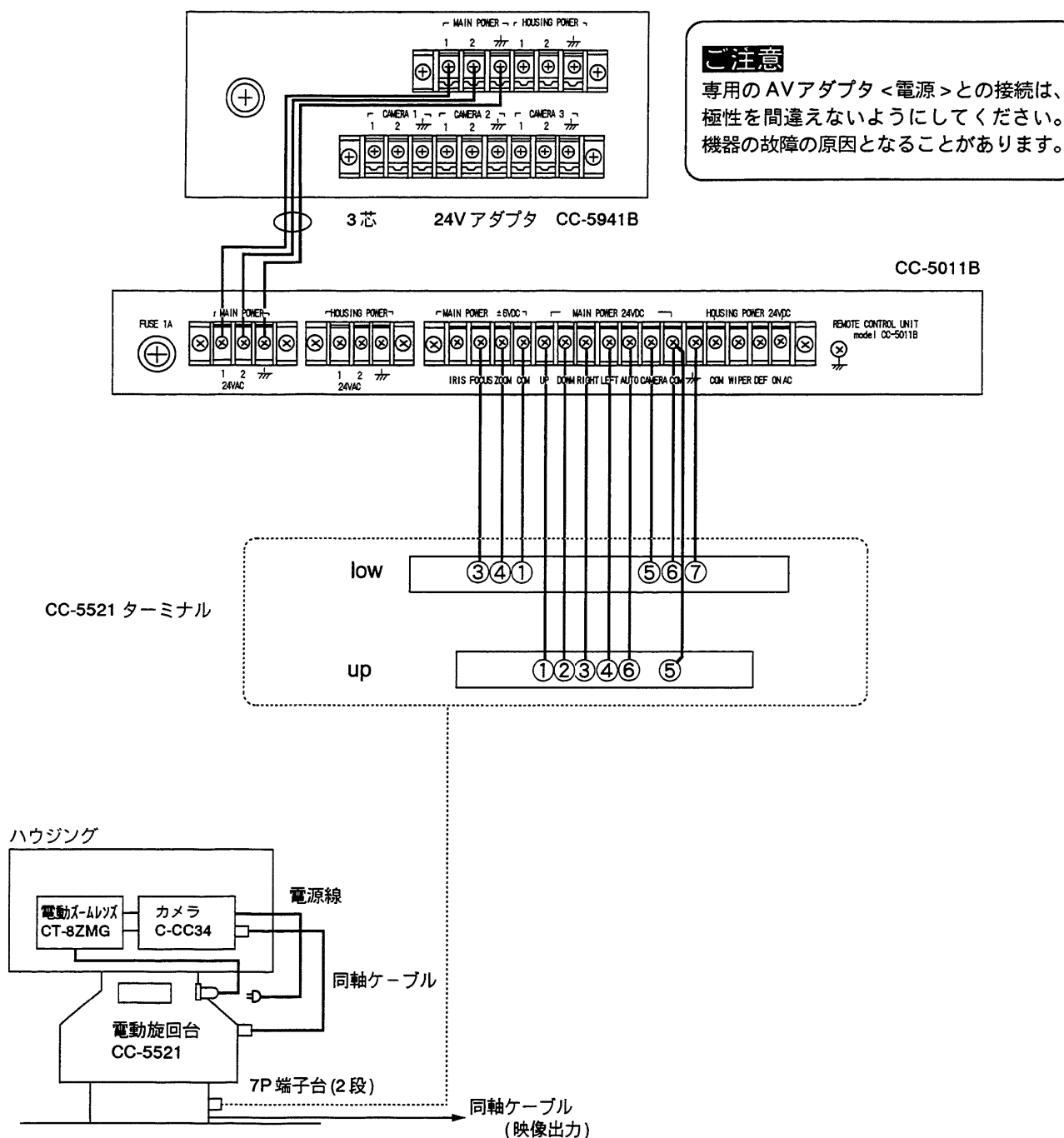
(前)



ケースを開けて RC-1A 基板上の JP1 をニッパー等で切断してください。

● 屋内用接続例

CC-5941B + CC-5011B + 電動旋回台 (CC-5521) + C-CC34 + 電動ズームレンズ (CT-8ZMG) を使用するとき

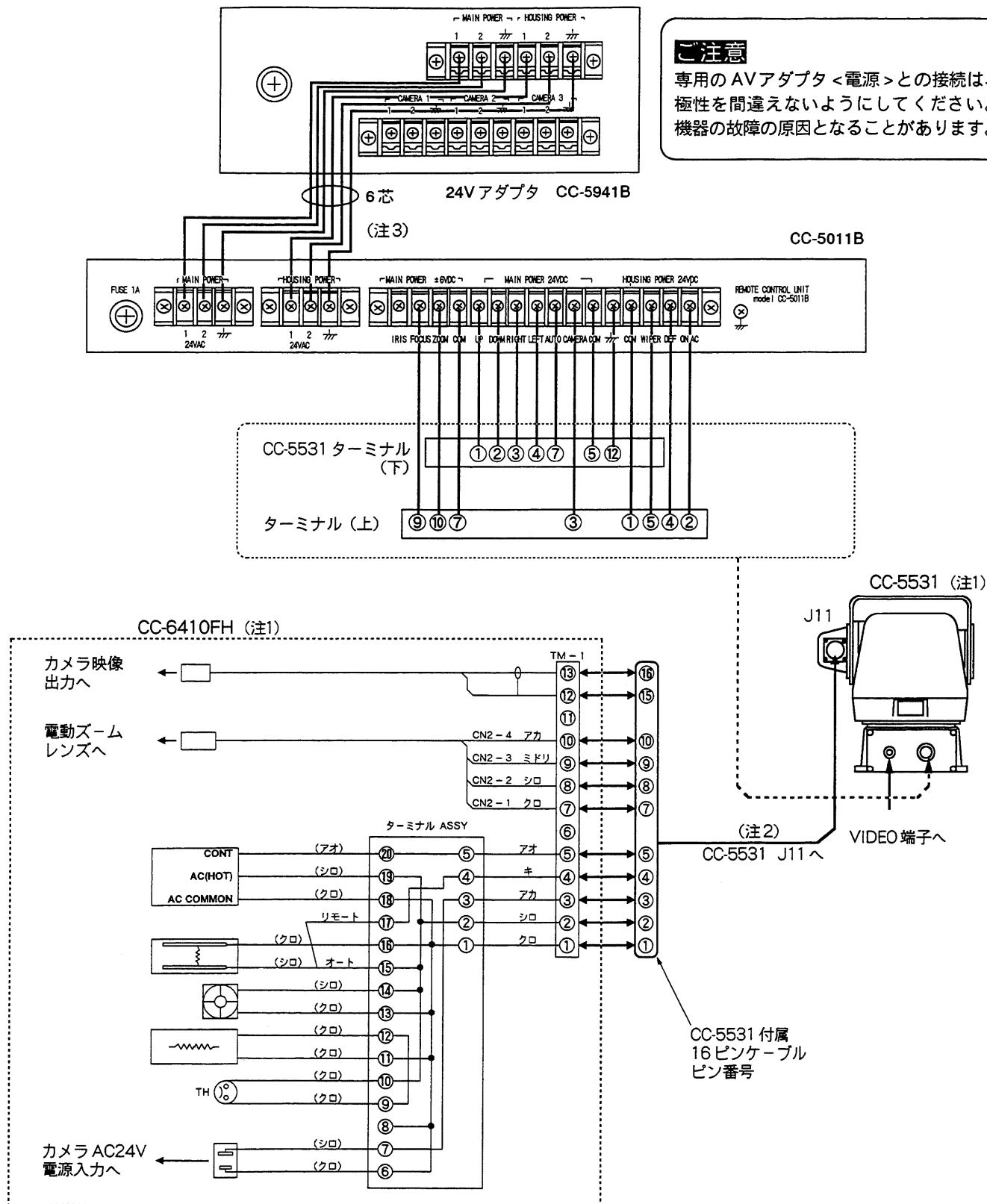


ご注意

1. 電動ズームレンズ用、映像出力のケーブルは、カメラの回転を考慮して断線しないように接続してください。
2. 24Vアダプタ CC-5941B と CC-5011B 間の接続ケーブルはφ1.0以上のものをご使用ください。

● 屋外用接続例

電動旋回台 (CC-5531) + ハウジング (CC-6410FH) + 電動ズームレンズを使用するとき



(注1) 旋回台の取付けかた、カメラハウジングのオプションの取付けかたなどはそれぞれの取扱説明書をご覧ください。

(注2) CC-5531 の J11 と CC-6410FH との接続ケーブルは、CC-5531 に付属しています。

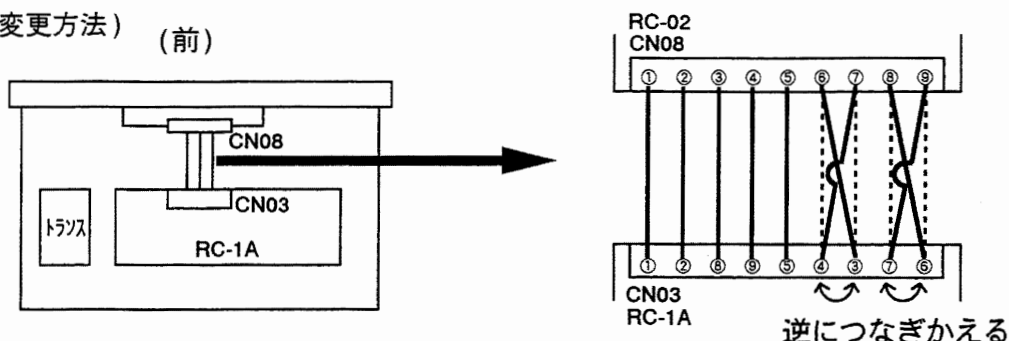
(注3) 24 V アダプタ CC-5941B と CC-5011B 間の接続ケーブルはφ1.0以上のものをご使用ください。

● 旋回台を吊下げて使用する場合の変更および接続

(1) 旋回台を吊下げて使用する場合、上下・左右の制御が逆になりますので以下のように本機の内部を変更してください。

● CC-5521 の場合

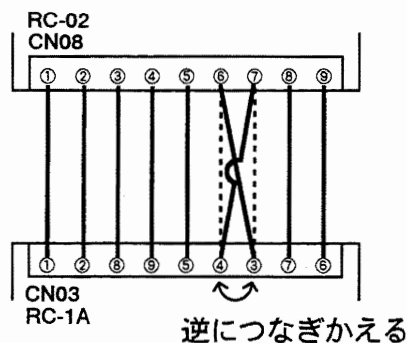
(変更方法) (前)



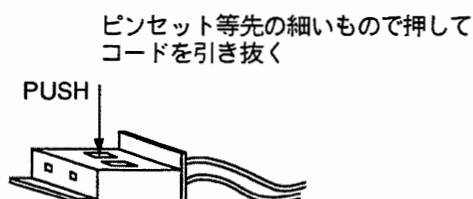
CC-5011B 内部 RC-1A 基板上的コネクタ CN03 の③ピン(右)と④ピン(左)、⑥ピン(上)と⑦ピン(下)を各々逆に接続してください。

● CC-5531 の場合

最初に、旋回台の出力コネクタの向きを変えてください。詳細は CC-5531 の取扱説明書を参照ください。次に、CC-5011B 内部 RC-1A 基板上的コネクタ CN03 の③ピン(右)と④ピン(左)を逆に接続してください。



● コネクタからコードを引き抜く方法



CC-5011B と旋回台の接続は正規とおりです。

CC-5011B	旋回台
UP	UP
DOWN	DOWN
RIGHT	RIGHT
LEFT	LEFT
AUTO	AUTO

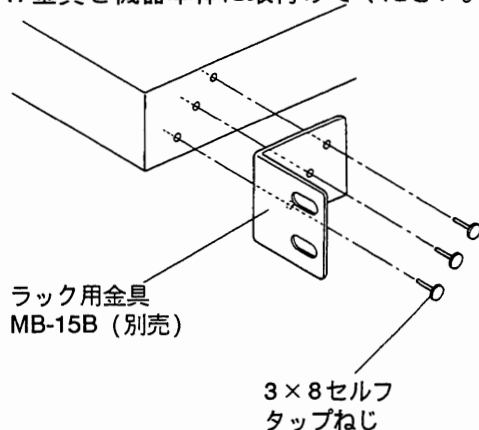
(2) CC-5525 の場合

- CC-5011B と旋回台の接続は、UP(上)と DOWN(下)、RIGHT(右)と LEFT(左)を逆につないでください。
- CC-5525 をオートパンで使用する場合、本機 CC-5011B の内部調整 (RC-1A 基板上的 JP1 を切断) が必要です。

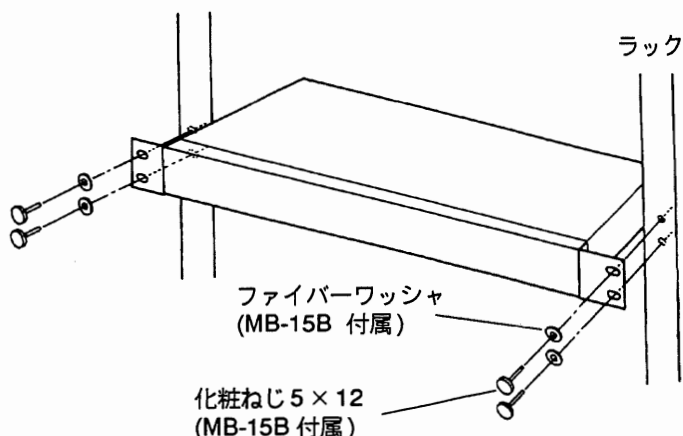
ラックに取付けるとき

- ラックに取付けてご使用になる場合は、ラック用金具 MB-15B (別売) をご利用ください。本体のゴム足は外しておきます。

1. 金具を機器本体に取付けてください。



2. 本体を MB-15B 付属ねじでラックに取付けてください。



アフターサービスについて

● 保証書

保証書は販売店からお渡しますから、必ず「販売店名・購入日」などの記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保証期間は、お求めの日から1年間です。

● 保証期間中に修理を依頼されるとき

取扱説明書をお読みになって、ご不明な点やご不審な点があれば、お求めの販売店にご連絡ください。お客様が修理することはできません。もし、機器をあけたり、内部に手を触れた場合は、保証期間中であっても保証の対象からはずれますのでご注意ください。

連絡していただきたいこと

住所・氏名・電話番号・製品名・品番・購入日・故障の内容や異常の状況。

● 保証期間経過後に修理を依頼されるとき

お求めの販売店にご相談ください。

修理によって機能が維持できる場合には、ご要望により有料で修理いたします。

保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な点があれば、お求めの販売店にお問い合わせください。

仕 様

電源 入 力	MAIN POWER	AC 24 V 50/60 Hz (電動旋回台、カメラ電源、電動ズームレンズ用)
	HOUSING POWER	AC 24 V 50/60 Hz (カメラハウジング用)
制 御 出 力	電動旋回台、カメラハウジング、 カメラ電源用	AC 24 V 50/60 Hz
	電動ズームレンズ用	DC ±6 V 0.15 A
コ ン ト ロ ー ル	電動旋回台	PAN (RIGHT/LEFT/AUTO) TILT (UP/DOWN)
	カメラハウジング	DEFROSTER (ON-OFF) WIPER (ON-OFF) *ファン、ヒータ用 ON-AC は常時 AC 24 V 出力
	カメラ電源	ON-OFF
	電源ズームレンズ	ZOOM (WIDE/TELE), FOCUS (FAR/NEAR), IRIS (CLOSE/OPEN)
使 用 温 度 範 囲		-10℃ ~ 50℃
寸 法		420 (W) × 44.5 (H) × 253 (D) mm
質 量		3.3 kg
仕 上		黒 (N1.0) 三分艶
付 属 品	取扱説明書	1
	機器保証書	1

※ 本機の仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。



TOA インフォメーションセンター	フリーダイヤル (無料電話) TEL. 0120 - 108 - 117
商品や技術など、お問い合わせにお応えします。	〒665 宝塚市高松町2番1号
受付時間 9:00 ~ 17:00 (日曜・祝日除く)	TEL. 0797-72-7567
	FAX. 0797-72-1090

札幌営業所 TEL (011) 231-4641 代
青森営業所 TEL (0177) 23-3751 代
秋田営業所 TEL (0188) 24-7231 代
盛岡営業所 TEL (0196) 54-5211 代
仙台営業所 TEL (022) 256-8100 代
郡山営業所 TEL (0249) 23-7744 代
水戸営業所 TEL (029) 231-9811 代
宇都宮営業所 TEL (028) 662-1431 代
高崎営業所 TEL (0273) 26-3955 代
多摩営業所 TEL (0425) 84-1711 代
長野営業所 TEL (026) 226-3628 代
新潟営業所 TEL (025) 246-2316 代
千葉営業所 TEL (043) 234-6511 代
大宮営業所 TEL (048) 685-5131 代
横浜営業所 TEL (045) 261-2721 代
東京営業所 TEL (03) 3814-6211 代

市場開発 TEL (03) 3814-8011 代
静岡営業所 TEL (054) 237-8850 代
金沢営業所 TEL (0762) 33-1951 代
岐阜営業所 TEL (058) 276-1401 代
名古屋営業所 TEL (052) 971-8211 代
津営業所 TEL (0592) 24-6645 代
大阪営業所 TEL (06) 358-1141 代
京都営業所 TEL (075) 801-7328 代
神戸営業所 TEL (078) 577-4326 代
岡山営業所 TEL (086) 241-8029 代
広島営業所 TEL (082) 291-3988 代
高松営業所 TEL (0878) 51-3166 代
松山営業所 TEL (089) 931-1586 代
北九州営業所 TEL (093) 581-4722 代
福岡営業所 TEL (092) 431-0061 代
熊本営業所 TEL (096) 384-1612 代

鹿児島営業所 TEL (099) 256-5245 代
那覇営業所 TEL (098) 866-5598 代

法人営業
推進部 TEL (03) 3818-4721 代
／大阪 TEL (06) 353-4430 代
サウンドエンジ
ニアリング部 TEL (03) 3815-8731 代
／大阪 TEL (06) 354-8760 代
サウンドボケット TEL (03) 3815-8731 代
／大阪 TEL (06) 354-8760 代
DMS推進部 TEL (03) 3815-8731 代
SSD推進部 TEL (03) 3818-4721 代